

蔦屋三年坂に産直マルシェ

来春 地産地消、中心地を活性化

CD・DVDレンタル、書籍販売のニューコ・ワン(熊本市)は、産品を生かして民間事業を支援する総務省の「地域経済循環創造事業交付金」を活用。熊本市が事業費として4千万円(全額国負担)を助成する予定。

市によると、店舗1階のカフェ約150平方メートルの改修を計画。地



1階のカフェを改修して「産直マルシェ(仮称)」がオープンする蔦屋書店熊本三年坂
熊本市中央区

元の農家から直接仕入れた新鮮な野菜や果物を扱う売り場のほか、厨房、飲食エリアを整備する。近隣の飲食店への宅配サービスも展開。2月末で閉店した県民百貨店元従業員の雇用も計画している。

青果物は一般的に、店頭に残った分は「ロス」として農家へ返品されるか、廃棄処分される。新事業は「リユース(再利用)」が特徴で、ロス分の青果物をジュースやビュッフェで提供。農家の所得向上につながる狙い。

崇城大がマーケティングや商品開発関連の情報提供で協力。肥後銀行も事業計画づくりなどで支援する。熊本市とニューコ・ワンは「産官学が協力すること、中心市街地の雇用創出や、買い物難民の解消にもつなげたい」としている。

(原大祐)